

『豊臣秀吉文書集』 完結記念事業

令和6年11月2日(土)

聴講無料



10:00 ~ 11:00

はくぶつかん講座 「北政所のたからもの 豊臣家文書」

講師：岡村弘子（名古屋市博物館主任学芸員）

主催：名古屋市博物館・名古屋市秀吉清正記念館・

名古屋市文化振興事業団（名古屋市中村文化小劇場）・名古屋市中村図書館

13:00 ~ 16:00

『豊臣秀吉文書集』 完結記念シンポジウム
「秀吉の遺産を未来へつなぐ」

開催にあたって 岡村弘子（名古屋市博物館主任学芸員）

「『豊臣秀吉文書集』の編纂事業～研究の「里程標」づくり～」

報告① 播磨良紀氏（『豊臣秀吉文書集』編集委員 中京大学名誉教授）

「豊臣秀吉文書と年次比定」

報告② 川戸貴史氏（中世史研究会 名古屋市立大学教授）

「『豊臣秀吉文書集』に見る貨幣経済」

パネルディスカッション

主催：名古屋市博物館・中世史研究会（事務局：名古屋大学

日本史学研究室）・名古屋市秀吉清正記念館・

名古屋市文化振興事業団（名古屋市中村文化小劇場）・

名古屋市中村図書館



豊臣秀吉画像(部分)(名古屋市指定文化財「近江木下家資料」のうち)
名古屋市秀吉清正記念館蔵



事前申込制

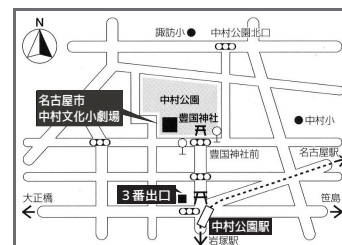
講座・シンポジウムともそれぞれ定員 250 名
申込方法は裏面をご覧ください。

会場：名古屋市中村文化小劇場

名古屋市中村区中村町字茶ノ木 25 番地 中村公園文化プラザ 3 階

地下鉄「中村公園」より北へ 800m

または市バス「豊国神社」よりすぐ





天下統一を成し遂げた豊臣秀吉が発給した文書は七千通にも及びます。これを初めて集大成したのが『豊臣秀吉文書集』です。待望の史料集として、2015年に第一巻が発刊されてより歴史研究者に大いに活用されています。また、編集事務局となった名古屋市博物館には日々全国から豊臣秀吉文書の新たな情報をもたらされるようになり、その結果、秀吉の正妻、北政所の実家である足守木下家に伝来した重要文化財「豊臣家文書」を収集するという成果にもつながりました。

この催しは当文書集が2024年、第九巻発刊をもって完結したことを記念するものです。午前には名古屋市博物館はくぶつかん講座として、この編集事業に準備段階からたずさわった学芸員が重要文化財「豊臣家文書」の魅力を紹介します。午後は中世史研究会との共同企画で『豊臣秀吉文書集』編纂の意義と、未来にむけての展望について語り合います。

聴講方法 WEBで講座・シンポジウム個別に事前申込

- 講座・シンポジウムともそれぞれ定員250名。個別に事前にお申し込みください。
名古屋市電子申請サービス (<https://ttzk.graffer.jp/city-nagoya>) にて先着順に受付します。
受付期間 10月4日(金)～10月31日(木) (期間中も定員に達し次第終了します。)
- ※電子申請サービスが利用できない場合は名古屋市博物館に電話でお問い合わせください。
 - ※内容・実施の有無などを今後変更する場合があります。ご来場の前に名古屋市博物館公式SNS (Facebook、X) でご確認ください。
 - ※手話通訳・要約筆記などによるサポートをご希望の方は、2週間前までにお申し込みをお願いします。サポートをご希望される旨を申込画面の備考欄にご記入ください。

関連催事 特別陳列「重要文化財 豊臣家文書」

- 会場：名古屋市秀吉清正記念館 (中村公園文化プラザ2階)
10月12日(土)～11月17日(日)
秀吉が関白に上りつめるまでの足跡を示す貴重な文書を、故郷の中村で公開します。
- 観覧無料
開館時間 午前9時30分から午後5時まで
休館日 月曜日 (祝日の場合は翌平日)、10月22日(火)

各問い合わせ先

聴講申込について

はくぶつかん講座の内容について

名古屋市博物館

電話 052-853-2655
8:45-17:30 (土日祝を除く)

シンポジウムの内容について

中世史研究会事務局

(名古屋大学文学部日本史学研究室)

電話 052-789-2228

電子申請の操作方法について

グラフィックテクニカルサポート

電話 050-2018-0286

特別陳列

「重要文化財 豊臣家文書」について

名古屋市秀吉清正記念館

電話 052-411-0035
9:30-17:00 (休館日を除く)